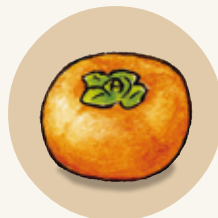
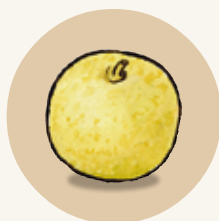
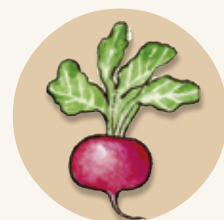


第7回「知の拠点庄内」シンポジウム

わ く わ く



庄内



暮らし

庄内地域には、地方としては全国的にも珍しく、4つの高等教育・研究機関が集積しています。これらの機関が知を集結し、「知の拠点庄内」を立ち上げました。

このシンポジウムでは、地方創生といった視点から、4つの高等教育・研究機関が庄内の未来へ向けた地域創りについて講演します。

日時●平成**29**年**12**月**10**日(日) 13:30～15:50 (開場12:30～)

場所●鶴岡市先端研究産業支援センター(鶴岡メタボロームキャンパス)
レクチャーホール(鶴岡市覚岸寺水上246-2)

主 催:「知の拠点庄内」ワークショップ委員会

共 催:鶴岡市・酒田市

山形大学農学部・東北公益文科大学・鶴岡工業高等専門学校・慶應義塾大学先端生命科学研究所(事務局)



基調講演

「鶴岡食文化を子や孫に」

海藤 道子氏 (食育インストラクター)

13:35-14:05

発表

「テロワール・食文化による暮らしの存続と風景の保全」

温井 亨氏 (東北公益文科大学公益学部 観光・まちづくりコース 教授)

14:05-14:20

「山形の隠れ食材でイノベーション ～地域共創を学生とともに～」

伊藤 眞子氏 (鶴岡工業高等専門学校 教育研究技術支援センター 副技術長)

14:20-14:35

「からだに良い油のお話 ～庄内の食品で健康長寿をめざそう～」

井上 奈穂氏 (山形大学農学部 食品・応用生命科学コース 准教授)

14:35-14:50

「農産物と食品へのメタボロミクスの活用 ～庄内地域での立地背景を活かして～」

若山 正隆氏 (慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任助教)

14:50-15:05

(休憩 10 分)

パネル
ディスカッション

パネリスト・講演者 5名

コーディネーター／藤井 弘志氏 (山形大学農学部 安全農産物生産学コース 教授)

15:15-15:45

閉 会

15:45-15:50

●入場無料 (入場は無料ですが、事前申し込みが必要です)

●定員150名程度 (定員になり次第、締切とさせていただきます)

●申込先

・慶應義塾大学先端生命科学研究所事務局

[Web] <http://www.ttck.keio.ac.jp/shonai2017.html>[E-mail] m-apply@iab.keio.ac.jp

[Fax] 0235-29-0809

・鶴岡市役所 政策企画課

[Tel] 0235-25-2111 内線 525 または 526 まで

●締切

12月7日(木)

※ファックスでお申し込みの方は、下記に必要事項をご記入の上、
FAX 0235-29-0809 へ送信してください。※E-mailでお申し込みの方は、下記情報を記載の上、
m-apply@iab.keio.ac.jp へてに送信してください。

12/10 第7回「知の拠点庄内」シンポジウム 参加申込書 (FAX0235-29-0809)

●お名前(フリガナ)

●E-mailアドレス

@

●お電話番号

●FAX番号

●参加人数(複数人でご参加の場合、ご記入ください)

人

ご記入いただいた個人情報は、シンポジウムご参加に関する手続きのみに利用し、
第三者には開示・提供・預託することはありません。